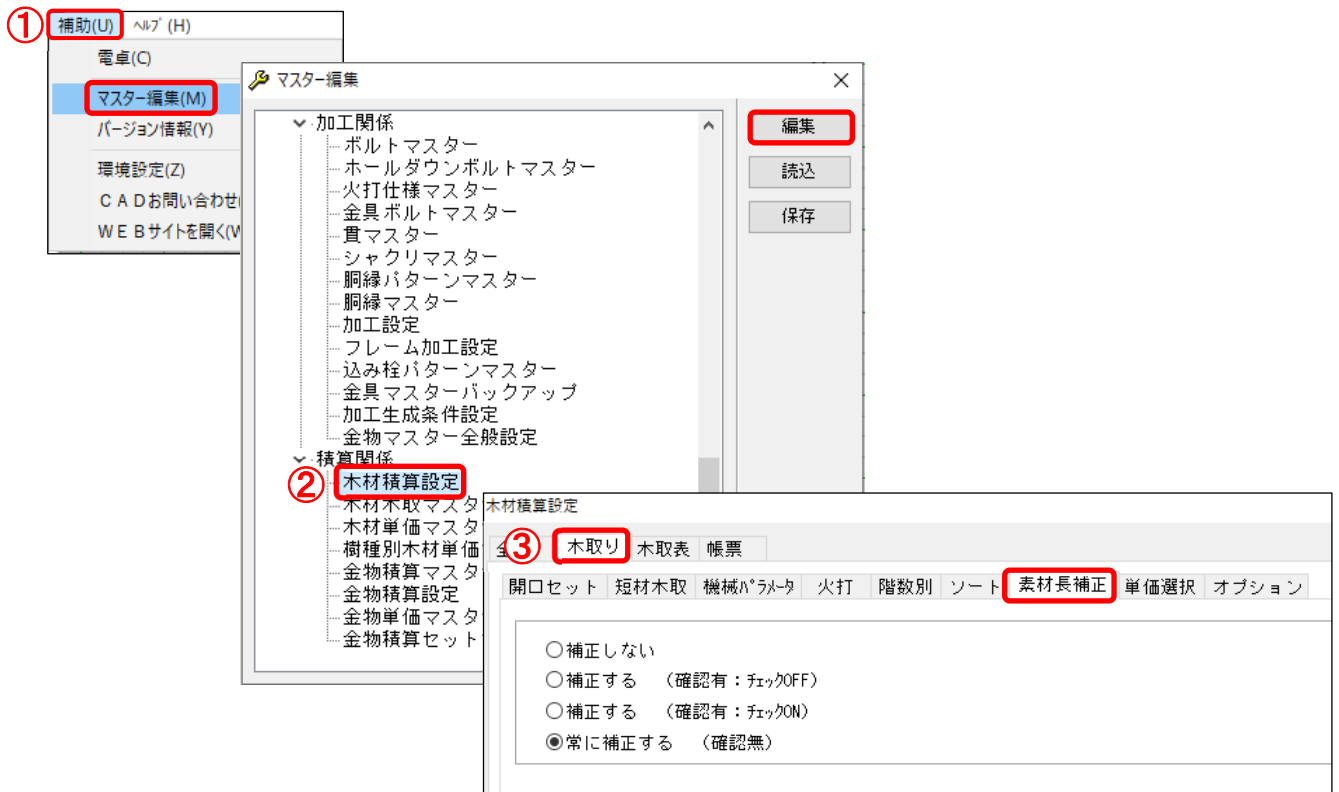


補助 – マスター編集 / 素材長補正



■ 素材長補正をする・しないの設定ができます。

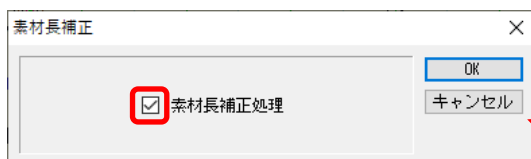
- ① [補助] – [マスター編集]を選択します。
- ② 「木材積算設定」を選択し、「編集」をクリックします。
- ③ 「木取り」の「素材長補正」を選択します。

補正しない・・・木材積算実行時、素材長補正処理を行いません。

補正する（確認有：チェック OFF）・・・木材積算実行時、素材長補正処理を行うか確認画面が表示されます。
（自動でチェックが入っています。）

補正する（確認有：チェック ON）・・・木材積算実行時、素材長補正処理を行うか確認画面が表示されます。
（自動でチェックが入っていません。）

常に補正する（確認無）・・・木材積算実行時、素材長補正処理を行います。
（確認画面は表示されません。）



素材長を「補正する（確認有）」にチェックがついている場合左図の確認画面が表示されます。あらかじめ「素材長補正処理」にチェックを付けておくかチェックを外しておくかの設定も可能です。

補助 - マスター編集 / 素材長補正

< 素材長補正の設定が「補正する」の場合 >

木材積算設定

全般 木取り 木取表 帳票

開口セット 短材木取 機械ハラムタ 火打 階数別 ソート 素材長補正

補正しない
 補正する (確認有: チェックOFF)
 補正する (確認有: チェックON)
 常に補正する (確認無)

米松 1等 105x105

	最小	最大	素材長
1	0	2200	4000
2	2200	3000	3000
3	3000	4000	4000
4	4000	5000	5000
5	5000	6000	6000
6	0	0	0
7	0	0	0
8	0	0	0
9	0	0	0
10	0	0	0
11	0	0	0
12	0	0	0
13	0	0	0
14	0	0	0
15	0	0	0
16	0	0	0
17	0	0	0
18	0	0	0
19	0	0	0
20	0	0	0

OK
キャンセル
行追加
行削除
ソート

素材長補正材長

追加
削除

「最小」「最大」のテーブルは参照せず、「素材長」のテーブルを直接参照します。

例) 梁桁・米松 1等 105×105 材長 : 1015

< 木取り結果 >

木材積算編集

22

区分	樹種	等級	W×H×L
1 F 桁・梁	米松	1等	105x 105x 3000

この場合、「素材長」のテーブルを見ると、3000 が一番材長と近いので「3000」で積算されています。

補助 - マスター編集 / 素材長補正

< 素材長補正の設定が「補正しない」の場合 >

木材積算設定

全般 木取り 木取表 帳票

開口セット 短材木取 機械ハラムク 火打 階数別 ソート 素材長補正

補正しない

補正する (確認有:チェックOFF)

補正する (確認有:チェックON)

常に補正する (確認無)

米松 1等 105x105

	最小	最大	素材長
1	0	2200	4000
2	2200	3000	3000
3	3000	4000	4000
4	4000	5000	5000
5	5000	6000	6000
6	0	0	0
7	0	0	0
8	0	0	0
9	0	0	0
10	0	0	0
11	0	0	0
12	0	0	0
13	0	0	0
14	0	0	0
15	0	0	0
16	0	0	0
17	0	0	0
18	0	0	0
19	0	0	0
20	0	0	0

OK

行追加

行削除

ソート

素材長補正材長

追加

削除

「最小」「最大」のテーブルの設定材範囲内と、配置されている材の材長を比較して、該当する設定材長範囲内で設定している素材長で積算します。

例) 梁桁・米松 1等 105x105 材長 : 1015

< 木取り結果 >

木材積算編集

22

区分	樹種	等級	W×H×L
1 F 桁・梁	米松	1等	105x 105x 4000

この場合、配置している材の材長は 1015 となっており、指定した木材積算仕様の木取りテーブルを確認すると、1015 は「0～2200」に該当するため、4000 で木取りされます。

補助 – マスター編集 / 素材長補正

< 素材長補正材長 >

	最小	最大	素材長
1	0	2200	4000
2	2200	3000	3000
3	3000	4000	4000
4	4000	5000	5000
5	5000	6000	6000
6	0	0	0
7	0	0	0
8	0	0	0
9	0	0	0
10	0	0	0
11	0	0	0
12	0	0	0
13	0	0	0
14	0	0	0
15	0	0	0
16	0	0	0
17	0	0	0
18	0	0	0
19	0	0	0
20	0	0	0

① 木取積算設定
木材木取マスター

② 素材長補正材長
2000

既に入力している素材長は、素材長補正材長に入力することができません。

入力エラー
入力された補正材長は、すでに素材長に設定されています。

< 素材長補正材長 >

「素材長」に登録がない材長を登録することができます。

「素材長補正する」で積算を実行した場合、素材長補正材長に登録されている材長も参照します。

- ① [補助] – [マスター編集]の「木材木取マスター」を選択し、「編集」をクリックします。
「木材積算仕様」画面が起動しますので、編集する仕様を選択し、「編集」をクリックします。
※詳しい操作方法は、「木材木取マスター」のマニュアルをご確認ください。
- ② ①の画面が開きますので、「素材長補正材長」の設定を行います。



例) 素材長補正材長に「2000」を登録した場合

①では0～2200の材長は4000で木取するようになっています。

材長1015の材が1本だけ余った場合、本来であれば4000で木取をします。

「素材長補正材長」に「2000」が設定されているため、「素材長補正する」で積算した場合、材長1015は2000で木取されます。

このように素材長補正材長に素材長を登録していると、より材料のロスを削減することができます。